



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4092 URL <http://www.nippon-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 学 TEL 03-3636-8038
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,303	0.8	2,006	△17.0	2,065	△17.1	1,543	△11.3
2019年3月期第3四半期	27,073	△1.0	2,418	△6.8	2,491	△4.8	1,739	△5.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,791百万円 (26.3%) 2019年3月期第3四半期 1,418百万円 (△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	175.45	—
2019年3月期第3四半期	197.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	68,456	36,716	53.6
2019年3月期	65,497	35,497	54.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 36,716百万円 2019年3月期 35,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	30.00	70.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当金 30円00銭 創業125周年記念配当金 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	3.7	3,100	0.5	3,100	1.4	2,200	2.1	250.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	8,922,775株	2019年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	126,963株	2019年3月期	126,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	8,795,973株	2019年3月期3Q	8,796,165株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の減速等を背景に輸出が弱含むなかで製造業を中心に弱さが増しているものの、雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気の回復が続きました。しかし一方で、米中の貿易摩擦、中国経済の先行き懸念のほか、緊張の高まる中東、香港情勢といった地政学リスク等、更なる海外経済の減速懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる「重点分野への集中投資」、「海外戦略の積極的展開」、「経営基盤の強化」という3つの重点戦略を持続的な成長に向け、全社一丸となって進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は273億3百万円（前年同期比2億2千9百万円増）となり、経常利益は20億6千5百万円（同4億2千6百万円減）となりました。

この経常利益に投資有価証券売却益1億8千万円の特別利益を加え、固定資産除却損1億4千3百万円の特別損失及び法人税等4億6千4百万円を差引き、更に法人税等調整額9千4百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億4千3百万円（同1億9千6百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき向けが落ち込んだことにより、売上高は減少しました。シリカ製品は環境関連向けが伸びたことにより、売上高は増加しました。燐製品は光学ガラス向けが低調に推移したものの、液晶向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。リチウム製品はグリースや光学ガラス向けが低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、化学品事業の売上高は、117億8千8百万円（同7千5百万円減）となりました。

②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は主要顧客向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。農薬は国内向けが落ち込んだことにより、売上高は減少しました。電池材料は主要顧客向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。電子セラミック材料は自動車・通信向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。回路材料は主要顧客向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。バリウム製品は光学向けが落ち込んだものの、電子材料向けが好調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。ホスフィン半導体向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。医薬中間体は主要顧客向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。この結果、機能品事業の売上高は、120億4百万円（同6億5千6百万円増）となりました。

③賃貸事業

賃貸事業は、イオンタウン郡山において増築した店舗の賃貸を開始したことにより、売上高は増加しました。この結果、賃貸事業の売上高は、6億8千4百万円（同9百万円増）となりました。

④空調関連事業

空調関連事業は、新規設計・施工及びメンテナンス需要が低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、空調関連事業の売上高は、21億6千万円（同3億3千4百万円減）となりました。

⑤その他

書店事業は、低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、6億6千4百万円（同2千7百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億5千9百万円増加し、純資産は12億1千9百万円増加しております。その結果、自己資本比率は54.2%から53.6%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、受取手形及び売掛金が8億4千5百万円増加し、商品及び製品が3億5千9百万円減少し、原材料及び貯蔵品が7億7千2百万円減少しております。

固定資産では、有形固定資産が22億6千4百万円増加し、無形固定資産が7千万円増加し、投資有価証券が3億8百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が4億8千2百万円減少し、短期借入金が12億5千8百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が34億2千8百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が9億7千1百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が3億1千7百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績は概ね計画の範囲内で推移しているものと判断し、2019年5月14日に公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,051	9,213
受取手形及び売掛金	10,861	11,706
商品及び製品	4,712	4,353
仕掛品	2,310	2,553
原材料及び貯蔵品	3,342	2,569
未収消費税等	4	19
その他	532	670
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	30,794	31,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,721	34,330
減価償却累計額	△21,631	△22,065
建物及び構築物（純額）	11,090	12,265
機械装置及び運搬具	9,307	12,297
減価償却累計額	△4,470	△5,402
機械装置及び運搬具（純額）	4,836	6,895
土地	7,730	7,730
建設仮勘定	2,567	1,512
その他	6,303	6,500
減価償却累計額	△5,513	△5,624
その他（純額）	789	875
有形固定資産合計	27,014	29,278
無形固定資産		
のれん	62	51
その他	257	339
無形固定資産合計	319	390
投資その他の資産		
投資有価証券	6,597	6,905
長期貸付金	37	29
繰延税金資産	141	128
退職給付に係る資産	165	246
その他	450	435
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,368	7,722
固定資産合計	34,703	37,391
資産合計	65,497	68,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,617	4,135
短期借入金	9,143	7,884
未払法人税等	346	164
未払消費税等	24	241
賞与引当金	432	125
設備関係未払金	2,361	2,121
その他	2,000	2,168
流動負債合計	18,925	16,841
固定負債		
長期借入金	5,422	8,850
繰延税金負債	2,118	2,303
退職給付に係る負債	1,299	1,360
その他	2,233	2,383
固定負債合計	11,073	14,898
負債合計	29,999	31,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	24,840	25,812
自己株式	△353	△354
株主資本合計	32,514	33,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,792	3,110
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	11	4
退職給付に係る調整累計額	179	116
その他の包括利益累計額合計	2,983	3,231
純資産合計	35,497	36,716
負債純資産合計	65,497	68,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	27,073	27,303
売上原価	20,948	21,373
売上総利益	6,125	5,929
販売費及び一般管理費	3,706	3,923
営業利益	2,418	2,006
営業外収益		
受取利息及び配当金	118	122
持分法による投資利益	61	33
その他	99	74
営業外収益合計	280	230
営業外費用		
支払利息	54	56
環境対策費	105	45
その他	47	70
営業外費用合計	207	172
経常利益	2,491	2,065
特別利益		
投資有価証券売却益	9	180
特別利益合計	9	180
特別損失		
固定資産除却損	63	143
特別損失合計	63	143
税金等調整前四半期純利益	2,437	2,102
法人税、住民税及び事業税	492	464
法人税等調整額	205	94
法人税等合計	698	559
四半期純利益	1,739	1,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,739	1,543

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,739	1,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△318	317
繰延ヘッジ損益	2	0
退職給付に係る調整額	△5	△62
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△7
その他の包括利益合計	△321	248
四半期包括利益	1,418	1,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,418	1,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	空調関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売 上高	11,864	11,348	674	2,495	26,381	691	27,073	—	27,073
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4	—	16	3	23	186	209	△209	—
計	11,868	11,348	690	2,498	26,405	878	27,283	△209	27,073
セグメント利益	593	1,130	418	220	2,363	39	2,402	15	2,418

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	空調関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売 上高	11,788	12,004	684	2,160	26,638	664	27,303	—	27,303
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	—	16	4	25	211	236	△236	—
計	11,792	12,004	700	2,165	26,663	876	27,539	△236	27,303
セグメント利益	567	992	399	1	1,961	29	1,990	15	2,006

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。